

飯田山を町のシンボルに

山頂の地上権設定契約書の調印式

2月8日、飯田山山頂の土地利用に関する契約の調印式が役場で行われ、関係者16人が出席しました。

町のシンボルとして親しまれている飯田山の山頂を所有する熊本市在住の永木榮一さんの申し出により土地の無償提供がなされ、町では今後、公園や散策路の整備を行っていく予定です。

式では、住永町長と永木さんの代理で弟の勝田昭一さん（嘉島町在住）が、町に土地利用を認める地上権設定の契約書に調印をしました。

調印にあたり勝田さんは、「多くの人に来てもらえる場所になってほしい。完成を楽しみにしています」と笑顔で語られました。



契約書に調印する勝田さん(左)と住永町長

災害協定調印式



握手をかわす住永町長と森部会長、西山組合長(右から)

災害時の復旧態勢を確認

災害協定調印式

1月27日、益城町と町建設業協会（森部信康会長）、町管工事業協同組合（西山和典組合長）が、大規模災害時の支援活動に関する協定を締結しました。この協定は、地震や風水害などの大規模な災害が起きた場合、両団体が道路や水道などインフラの迅速かつ的確な復旧活動を行うことを目的としています。

調印式では、「今までは、互いの信頼関係だけで協力をお願いしていたが、さらに信頼を高め、具体的に行動してもらうことになり大変喜んでいきます」と住永町長が挨拶すると、森部会長は、「あつてはならないが、災害時には第1番に活動できるようにしたい」と応え、災害時の町の復旧態勢について確認しました。

■ 熊本県の総人口は引き続き減少

平成22年10月1日現在の熊本県総人口は1,817,410人で平成17年国勢調査(1,842,233人)に比べて24,823人少なく(△1.35%)、前々回から引き続き減少しました。

■ 39市町村が人口減少

平成17年の調査に比べ人口が増加したのは熊本市(6,316人増)、菊陽町(5,307人増)、合志市(3,358人増)、大津町(2,129人増)など6市町で、他の39市町村は減少となっています。

■ 益城町の調査結果

区分	世帯数	世帯員数(人)	一世帯当たり世帯員数(人)
平成17年	10,549	32,782	3.11
平成22年	10,933	32,692	2.99
比較	384	△90	△0.12

平成22年

国勢調査速報

益城町の人口は 32,692 人

平成22年10月1日現在で、全国一斉に実施された国勢調査では、皆様のご協力ありがとうございました。

調査結果の一部がまとまり、速報値が公表されましたのでお知らせします。なお、この結果は概数ですので、今後公表される総務省の公表数値とは異なる場合があります。